

2 目標達成計画

作成日：平成28年2月23日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念を見えにくい箇所に掲示していたため、利用者来訪者の目に移りやすい場所に掲げることが必要。	「日常生活を自分らしく生きることの支援」という理念を利用者、来訪者、職員が周知できる。	皆に周知できる場所に理念を掲げ常時、理念にそった支援が行えるようにしていく。	1 か月
2	49	職員の配置の関係もあり、受診の付添等以外は、計画に掲げたほど実施できていない。開設初年度ということもありサービスのすすめ方に戸惑いや不備もあったと考えられる。	利用者1人1人のニーズに合わせ年間計画を立て、外出の機会を増やしていく。	利用者の希望を聞き安全等を考慮し、体調面をみながら可能な範囲で外出支援を行っていく。	12 か月
3	11	職員数が限られている小規模な施設の為、職員が事故・アクシデント等で休みとなり、現場がギリギリの状態になることがあった。その場合、現場が大きな労務負担を担うことになり、ゆとりをもった対応が出きなくなる事があった。	職員の労務負担を軽減し、利用者家族にゆとりを持って対応できるようにする。	必要な人材の確保。若い職員の育成、研修等の機会をもうけ仕事以外の部分でも成長を促し、福祉サービスを担う人員としてのスキルを身につける。	12 か月
4	51	家族同士の交流会の実施は3回くらいであった。職員の交代等もあり、その都度紹介が行えていなかったため、利用者のご家族への周知も不十分であった。今後は行事の回数及び家族の会等、利用者家族同士が交流を持てる機会を増やしたい。	利用者家族との連絡を定期的にとりあい、心配なくサービスを受けていただけるよう配慮する。	施設での生活に関わることで変更や、記事があったときは速やかにご家族に連絡し安心してサービスを受けていただけるようにする。家族会等の行事をふやしていく。	12 か月
5	35	火災だけでなく、あらゆる災害を想定し行動する事が必要であるが、実際には避難訓練や防災グッズの準備等にとどまっている現状である。、普段から危機管理能力を職員全員が身につける必要がある。	災害時に、あわてないように普段から危機管理意識を持ち行動することができるよう職員意識を高める研修等をおこなっていく。	避難訓練を最低でも年に2回は実施する。防災に関する勉強会を職員間で開催する。火災だけでなく、地震や天災にそなえたマニュアルづくりの実践。	3 か月

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。